

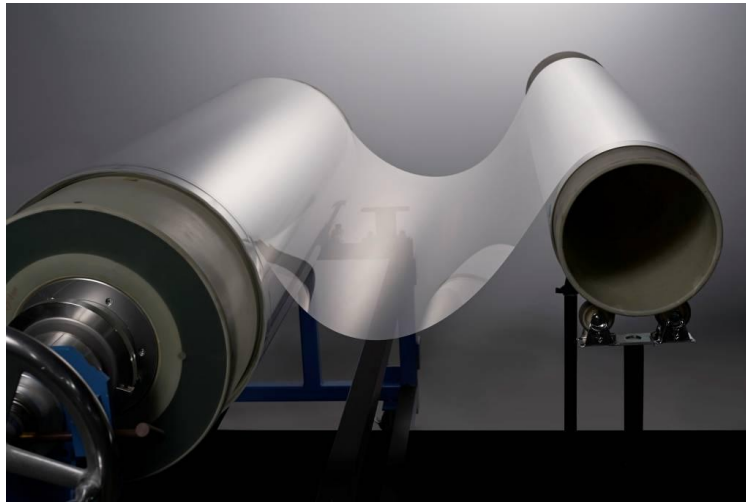
2014年5月26日

0.05ミリ厚のガラス“SPOOL®”のロール巻きに成功 ～フロート法による世界最薄ガラスで幅1,150ミリ、長さ100メートルを実現～

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、フロート法で生産するガラスとして世界最薄となる0.05ミリ厚の超薄板ガラス“SPOOL®”を、幅1,150ミリ、長さ100メートルのロール状に巻き取ることに成功しました。

超薄板ガラス“SPOOL”は、透明性、耐熱性、耐薬品性、ガスバリア性、電気絶縁性などガラスの優れた特長に加え、非常に薄く、軽量でフレキシブルであることを活かし、フレキシブルディスプレイや有機EL照明、タッチパネルなど最先端のアプリケーションへの採用が期待されています。



“SPOOL”をロールに巻くことで、現在お客様で開発が進められているロール・トゥ・ロール方式の生産プロセスに対応することが可能になります。また、AGCはお客様の生産ラインを変更することなく超薄板ガラスの利用を実現する積層基板技術の展開も進めています。AGCはこれらの技術を通じて、超薄板ガラスの実用化に貢献していきます。

AGCは、経営方針 *Grow Beyond* の下、「ガラス技術立社」を成長戦略のひとつに掲げています。今後も高度なガラス製造技術とプロセス技術を確立し、お客様に最適なソリューションを提供することで、成長基盤の強化・定着を図ります。

なお、6月3日より米国サンディエゴ市で開催される展示会“Society for Information Display(SID)”の当社ブースにて、0.05ミリの超薄板ガラス“SPOOL”を展示します。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子(株) 広報・IR 室長 小林 純一
(担当：小田原 TEL：03-3218-5603、E-mail：info-pr@agc.com)

(参考：0.05ミリの超薄板ガラス“SPOOL®”)

